

# よ り そ う

Side by Side

2011.10.11(火)

100号準備号④

編集責任:ナムラ

掲載担当:オーブテ

## ここで見たことをひとりでも多くの人に

坂巻京子

初めてきました。初めての災害ボランティア参加です。ガレキ撤去のため大槌町に向かいましたが、あいにくの雨降り、作業は中止となりました。残念でしたけど微妙な空模様で隊長さんたちの判断も大変だったと思います。

作業はせずに、バスで現地視察をさせていただきました。被害の甚大さにはただただ言葉を失いました。半年以上を経てこの状況。でもここまで来るまでもどれだけの苦労があったのか、想像することすらできません。沈黙して見つめるだけでした。

明日とあさってもガレキ撤去をしたい、と考えていましたが三日後までバッチリ雨の予報、このままガレキ撤去はできずには帰宅になってしまいそうな雲行きです。がっかりしないかと言つたらウソになります。でもここで繰り返し聞いた言葉を思い出しています。「ここで見たことをひとりでも多くの人に伝えてあげてください。」「ボランティアは“してあげる”ものではなく“させていただく”ものです。感謝の気持ちを忘れないようにしてください。」

家に戻ったら、友人に、同僚に、家族に今日見た光景を伝えましょう。長靴やら寝袋やら背負って来たけれど、三日間何もできなかったよ。でもそういうこともあって当たり前なのがボランティアなんだよ、って伝えましょう。そして「今度は一緒に行こうよ!」って言いましょう。また何もできないかもしれない。でも絶対また来たい!そんなことを考えた雨降りの夜でした。

【編集追記】坂巻さんはちょうど先月の台風のときに遠野に滞在されました。ソフト活動の多くも中止となり、全く何もできずに帰られた方は他にもたくさんいらっしゃったと思います。この原稿を含め二本の投稿、編集部への文房具の寄付、という形で貢献してくださった坂巻さんに感謝します。ありがとうございました。

## まごころの郷づくりレポート Vol.5 寄稿:宮本班長

10月8日 総勢6人でウッドデッキ作りと畑の開墾をしました。二日連続の藤平さん、まごころ百姓隊の栗原さん、リフォーム業の堀元組3人分という強力メンバーで作業は順調に進捗しました。ウッドデッキ作りでは、堀元さんが大活躍、図面をもとにてきぱきと作業を進めてくれました。おかげで土台は調整を残すのみ。畑作りも1区画が済み、残りは2区画になりました。明日からは棟梁も来てくれます。ボランティアの力を集めるとスゴイ。

◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆  
10月9日 総勢13人の参加で、15m×15mの家庭菜園モデル区画完成!のべ44人の努力の結晶です。そしてもう一報。ウッドデッキの土台もほぼ完了しました。あとは照井棟梁による検査、承認待ちです。こんなに出来るかと思いましたが、何とかなるもんで、今までご協力頂いた皆様、ありがとうございます。ウッドデッキ作りもいよいよ!  
うわものに前進、畑作りもモデル区画から踏み出して、すすきヶ原の開墾に挑戦します。来たれ若人、荒野が君を待っている。かつての若人、1/1の模型作りに取り組みませんか。乞うご期待! (続)



## ☆キャンドル・ナイト☆

10月11日で

東日本大震災

から7ヶ月が

たちました。遠

野まごころネ

ットに携わってきた様々な人々の想いを込めて、本日遠野総合福祉センターの玄関前で「キャンドル・ナイト」が開かれました。「想」という文字をかたどったたくさんのキ



ヤンドルが玄関前で点灯される中、副代表の多田さんによる震災から今まで振り返るお話をあり、遠野まごころネットによる「上長部地区の活動の軌跡」を収録したDVDを鑑賞しました。最後は満月の下、参加した全員でキャンドルから線香花火に火を灯し、明日からの活動への「想い」をあらたにしました。